

厚岸町議会 平成25年度各会計補正予算審査特別委員会会議録

平成26年3月11日

午前10時00分開会

- 委員長（谷口委員） ただいまから、平成25年度各会計補正予算審査特別委員会を続会いたします。

本日は、議案第20号 平成25年度厚岸町水道事業会計補正予算から審査を進めてまいります。

1 ページ、第2条、業務の予定量の補正。

次に、第3条、収益的収入及び支出の補正、6 ページをお開き願います。収益的収入から進めてまいります。

1 款水道事業収益、1 項営業収益。

9 番、南谷委員。

- 南谷委員 1 款 1 項 1 目 1 節水道使用料でお願いしたいんです。済みません。よろしいですか。申しわけないです。水道使用料がマイナスの116万1,000円、この主要因というんですか、ここでマイナス計上になっているんですけども、業務用と、それから家事用、これらが下がっておる、当初予算よりも、ここで修正になっているんですけども、まず、この要因と、本年度の事業の推移についてお尋ねをさせていただきます。

- 委員長（谷口委員） 水道課長。

- 水道課長（遠田課長） 給水収益の関係でございますけれども、12月の補正でも、一度、大きく減額しております。12月の補正では660万円ほど減額して、さらに今回116万1,000円の減額ということで、これまでの給水収益の推移、実態、実績を反映して推計した結果ではありますが、かなり厳しい状況になります。今回、特に業務用、以前で言う工業用、団体用に相当する費用が、総体では、ここは収益を生む項目なんですけど、ここで下げざるを得ないと。一般用、家事用につきましては、人口減による減であろうというふうに分析していますが、収益自体については、当初見込んだよりも、また、前年度実績に比べても、今まで全ての月で前年度実績を下回っている状況で、非常に厳しい状況が続いています。その中でも、特に業務用、旧工業用、団体用に相当するものについては、当初予算から見て600万円ちょっとの減額でありますから、相当大的な、収益ではダメージを受けていることになります。この間、報道されているように、サンマの水揚げが振るわなかったということもありまして、ここ10年、15年以來、最低を記録したという報道がなされているとおり、その産業用の落ち込みが非常に大きいというふうに考えておりますが、この金額につきましては、この間までの実績を反映したものというふうに考えております。

その上で、収益全体に及ぼす影響なんですけど、実は料金改定の際に、24年度から3

年間は黒字を維持して、あとの２年間はどうしても、なかなかその確保は難しいけども、最初の３年間は黒字を維持して、５年間で何とか収支のバランスをとって次の改定に向かおうということで進めてまいりましたが、当初、そのときの推計では、今年度、781万1,000円の黒字になるだろうと、そういう推計をしておりました。今回、この収益の減、それと、今回、９月16日の台風18号の関係で、予想外の支出、また、それに伴う収益の減もありますけども、そういうような要因がありまして、今回、この補正後の見込みでは、その約半分ぐらいになります381万4,000円ほどの、黒字ではありますけども、大きく収益を下げざるを得ない状況になっているという内容でございます。

●委員長（谷口委員）　９番、南谷委員。

●南谷委員　大変詳しい説明をいただいたんですけども、委員長、ここでお願いがあるんです。今、課長が説明したのは、９ページですか、９ページの５の（２）のハ、当年度末処分利益剰余金793万円計上されております。この辺についても、今、若干説明をしていただきましたので、この関係について、広がるんですけども、質問してもよろしいでしょうか。

本年度の、25年度推計なんですけれども、ここで見ましたら、ちょっと逆戻りの質問になるかもしれないんですけども、当年度末処分利益剰余金が793万円計上されておるんです。たしか12月末で919万1,000円だったと、今の説明では、120万円ほど下がりますということなんですけれども、最終的に、年度末で、この793万円、どのぐらいの数字になると推定していますか。

●委員長（谷口委員）　暫時休憩します。

午前10時07分休憩

午前10時08分再開

●委員長（谷口委員）　再開します。
水道課長。

●水道課長（遠田課長）　お答えいたします。

これが26年度３月31日における予定貸借対照表でございますので、年度末では、この数字、793万円というのが積み上がった利益ということになります。これは今回、先ほど申しました381万4,000円と、25年度決算分の未処分利益剰余金の411万6,000円、25年度決算の剰余金を加えた数字、合計額の793万円が25年度末の金額ということになります。

●委員長（谷口委員）　９番、南谷委員。

●南谷委員　理解しました。それで、いずれにしても、先ほども説明あったんですけど

も、たしか私の記憶では平成23年だと思うんですけども、料金改定時、その5カ年の推計というものを私ども議員に説明をしていただきました。そうしますと、25年度推計では、たしか25年度の事業としては780万円ぐらいのプラスだと記憶しておるんですけども、実際には、今、説明受けたんですけど、大分落ち込むことになるんですよ。それで、サンマの減少も含めて、実態としてはそれだけではなく、急激なダウンだけでなく、実際の家事用の数字も減少傾向にあると、当時の5カ年の推計というものが、この半ばにして大きなずれが生じていると私は感じたんですけども、いかがでしょうか、まず、ずれがあるかないかについて。

●委員長（谷口委員） 水道課長。

●水道課長（遠田課長） 端的に言いますと、ずれが生じていると言わざるを得ないと思います。推計時ですと、平成24年では約1,600万円近い黒字を見込んでいましたが、結果としては24年度についても111万6,000円という結果ですので、1,000万円以上の減収と、見込みからの減収、今回、3月補正で、決算見込みで示したところにおいても約400万円、399万7,000円の、推計時から見ると減収とならざるを得ないというのが現実でございます。

●委員長（谷口委員） 9番、南谷委員。

●南谷委員 当初、その料金を改定する時点での推計というものが過小ではなくて、現実には、いろいろな災害とかそういうものを考慮しても、それ以上に推計値にやはりひずみが来ているということでございますから、私は、新年度以降、これらの問題について大きな課題が残っているというふうに理解しておりますし、これらの対応というものはどのようにとられておられるんでしょうか。

●委員長（谷口委員） 水道課長。

●水道課長（遠田課長） 支出が災害で予定外に増えたというのは別にしましても、歳出で大きく何かというよりも、どちらかという、見込んだ歳入が得られなかった結果ということと、歳出のほうにつきましても、今年度の初め、うちでは久々の大きな建設事業として宮園配水池の改築更新事業を今年度、26年度の2カ年でやるんですが、その段階で、昨日も、公共工事の労務単価が大きく上がった、今後も上がりそうだという話があったとおり、非常に、支出、歳出側においても、努力して抑えることができない部分が生じてきているということで、非常に苦慮しているところではあります。ただ、料金改定5年間はやらない前提で、何とかその事業を展開していこうと、ただ、推計時のときにも、料金改定時の審議の中でも申しましたが、本来、きちんとやろうとすると37%程度の料金改定が必要だと。ただ、長期間、料金改定していない状況もあったり、いろいろな状況から、平成24年度からの料金改定は20%に抑制して展開しているということもあって、なかなか、これを解消する妙案、もっともっと水を使っただけならばと

ということになるんですが、節水ということも一つの目標でもありますし、期待できることといえば、ここ、料金改定後3年連続で水産関係の水揚げが落ちていますので、これがある程度回復してくれれば、特に大きく落ち込んだ業務用の収益が上がってくれれば、少しは明るい兆しがあるのかなというふうには感じていますが、全体を通して、やはり収益関係は厳しい状況になっているというふうに認識しております。

●委員長（谷口委員） 9番、南谷委員。

●南谷委員 補正予算なのでね、どうのこうのっていうことにはならないんだろうと思うんです。そういう課題が残っているというふうに私も認識をしております。今後の推移も含めて、一回設定したからどうのということにはならないと思うんですよ。大きな当初の推計の中で、どうかということも、今後もやはりきちんと捉まえて、対応も含めて、町としても、私は何らかの、これよりもなった場合どうだとか、いろいろな課題があるわけですから、これらについてもぜひ検討していくべきだと考えますが、いかがでしょうか。

●委員長（谷口委員） 水道課長。

●水道課長（遠田課長） 全くそのとおりだというふうに思っています。料金改定の推計時で見込んではいませんでした宮園配水池に対する一般会計からの補助金、25年度、約1,300万円、26年度、新年度についても約5,000万円を超える、当初から計上していただいているとおり、いろいろな方策を考えてといいますか、補助が得られる道、何か別な、給水収益以外で事業が展開できるいい方法を模索しながら、何とかこのお約束した5年間は取り進めていきたいなというふうに思っています。

●委員長（谷口委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

●委員長（谷口委員） 他にございませんか。

（なし）

●委員長（谷口委員） なければ、進めてまいります。
2項営業外収益。

（なし）

●委員長（谷口委員） 以上で、収益的收入を終わりにして、収益的支出に入ります。
1款水道事業費用、1項営業費用。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 以上で、収益的収入、支出を終わります。

1 ページにお戻り願います。

次に、第4条、資本的収入及び支出の補正、7 ページ、資本的収入から始めてまいります。

1 款資本的収入、1 項企業債。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2 項国庫補助金。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 6 項補助金。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 資本的収入を終わります。

資本的支出に入ります。

1 款資本的支出、1 項建設改良費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 3 項補助金返還金。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 資本的収支を終わります。

次に、2 ページにお戻り願います。

第5条、企業債の補正。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 総体的にありませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） なければ、以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は、討論を省略し、原案のとおり可決すべきものと決するにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 委員長（谷口委員） 異議なしと認めます。

よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

- 委員長（谷口委員） 次に、議案第21号 平成25年度厚岸町病院事業会計補正予算を議題といたします。

1 ページ、第2条、業務の予定量の補正。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2 ページの第3条、収益的収入及び支出の補正。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 6 ページをお開き願います。

収益的収入から進めてまいります。

1 款病院事業収益、1 項医業収益。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2 項医業外収益。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） なければ、収益的支出に移らせていただきます。

1 款病院事業費用、1 項医業費用。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2 項医業外費用。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2 ページにお戻り願います。

第4条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正。ありませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 3 ページにお戻りください。

第5条、他会計からの補助金の補正。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 第6条、たな卸資産購入限度額の補正。ございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 総体的にありませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） なければ、以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は、討論を省略し、原案のとおり可決すべきものと決するにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 委員長（谷口委員） 異議なしと認めます。

よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

- 委員長（谷口委員） 以上で、本委員会に付託された平成25年度厚岸町一般会計補正予算ほか9件の補正予算の審査は、全部終了いたしました。

よって、平成25年度各会計補正予算審査特別委員会を閉会いたします。

午前10時20分閉会

以上のように会議の次第を記載し、ここに署名する。

平成26年3月11日

平成25年度各会計補正予算審査特別委員会

委員長